

事業箇所総合評価シート

【担当課：下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業	路線名等	大和川上流流域 第一処理区
箇所名	大和郡山市額田部南町		

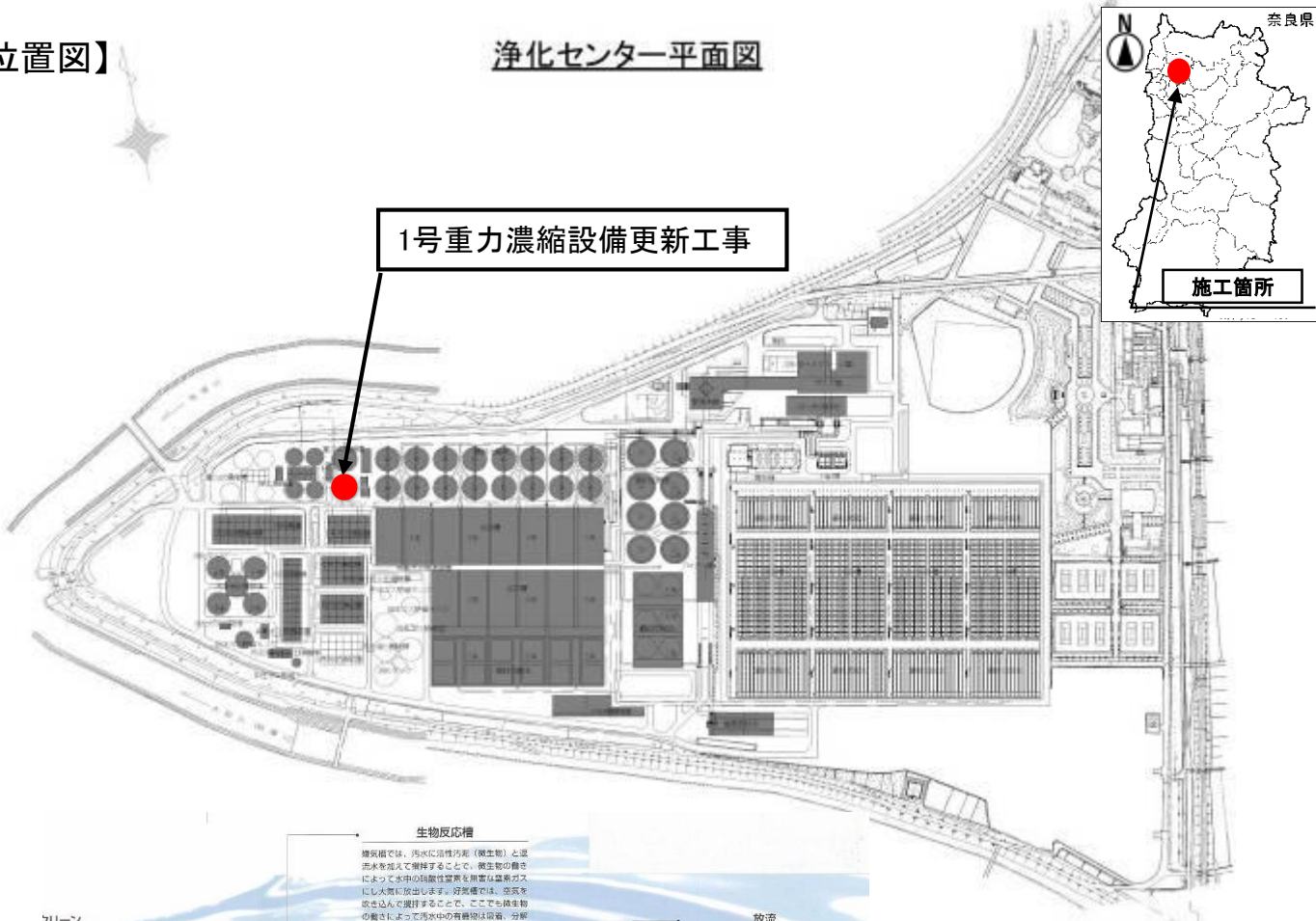
事業の概要	目的	汚泥濃縮設備が老朽化しているため機械設備の更新を行い、機能回復を図り、適正な放流水質を確保する。		
	事業内容	1号重力濃縮設備更新(機械・電気) 濃縮槽内部防食更新工事		
	着手年度	平成24年度	完成予定年度	平成26年度
	全体事業費	410百万円		

事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は水処理施設より発生した汚泥を濃縮する施設の機械設備である。 調査点検を実施したところ、健全度が低く、施設が老朽化しているため、機器の更新を行い、機能回復を図り、適正な放流水質を確保する必要がある。 平成8年度更新
上位計画等	「奈良県流域下水道長寿命化計画」
事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<ul style="list-style-type: none"> 近年の技術革新により機器の省エネ化・長寿命化が進んでおり、運転経費及び維持管理費用の節減が図れる。 槽内部のコンクリート面に防食塗装することで躯体の長寿命化が図れる。 本機器が停止した場合、汚泥の濃縮が出来なくなり、放流水質が悪化し、大和川の水質に悪影響を及ぼす。更新することでそのような事態を未然に防止できる。
コスト縮減への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ化・長寿命化等による維持管理コスト縮減を図る。 槽内部のコンクリート面に防食塗装を行い、躯体強度の維持及び長寿命化を図る。
地元情勢等	
他計画・他事業との関連	

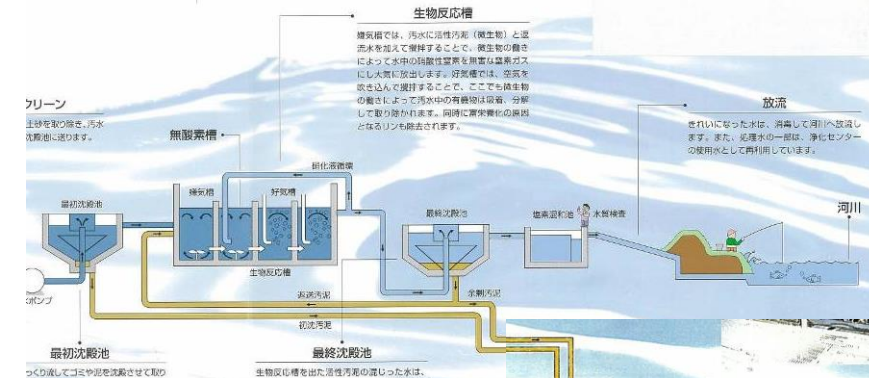
評価結果	左の理由
採択	施設の老朽化により機器更新の必要性が認められるため採択とする。

【位置図】

浄化センター平面図





1号重力濃縮設備更新工事

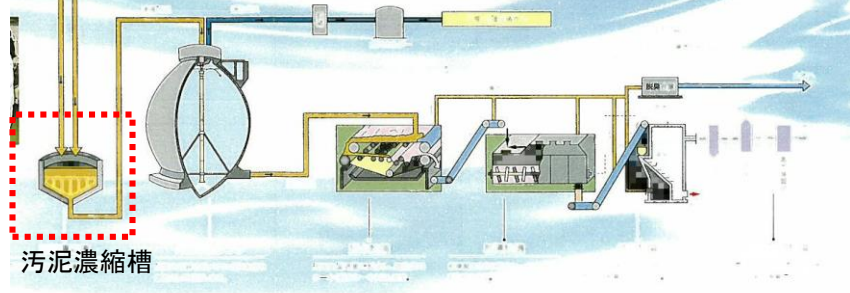


生物反応槽
曝気槽では、汚水に活性汚泥(微生物)と酸素を溶かして攪拌することで、微生物の働きによって水中の有機性汚濁物質を酸素ガスに分解して除去します。好気槽では、酸素を溶かして攪拌することで、ここでも微生物の働きによって汚水中の有機物は分解・分解して取り除かれます。同時に窒素の除去も図られます。

放流
きれいになった水は、消毒して河川へ放流します。また、処理水の一部は、浄化センターの雑用水として再利用しています。








汚泥濃縮槽

重力濃縮槽



機器劣化状況